○研修参考資料

□校内研修の進め方

校内研修の進め方を3つ紹介します。自主研修サポートの活用も含め、ぜひ、参考にしてください。

授業参観(映像視聴含)等を中心とした研修の進め方例

1 授業参観

INPUT

ア 研究授業の参観による研修

○校内の研究授業を参観し、視点を明確にして気づいたこと(よさ、課題や改善策等)を記録する

イ 授業映像の視聴による研修

○優秀・マスター教員授業DVDやその他の授業映像等を視聴し、気づいたこと(よさ等)を記録する

若プロ電話サポートの活用

研修用教材(授業DVD)の活用

2 交流

INPUT

OUTPUT

○各自の気づきを基に、研究テーマに沿って意見交流し、授業改善を図る

○各自の気づきを基に、意見交流を行う

※時間があれば

○グループで出た意見を分類・整理する → ○整理した結果を全体で共有する

3 指導・助言

○管理職等の指導・助言を聞く

○指導主事等の指導・助言を聞く

指導主事派遣サポートの活用

金大連携サポートの活用

4 まとめ・目標決め(P)

OUTPUT

○交流による学びを生かして、今後の目標を決める(個人・グループ・全体)

研修後

実践(D) → 評価(C) → 改善(A) ☆PDCA サイクル

講義(映像視聴含)等を中心とした研修の進め方例

1 講義(映像視聴含)

INPUT

ア 校内の人材等を 活用した研修

- 教職員が講義・演習を行う
- ・校務分掌や得意分野に関する講義
- ・集合研修等を活用した研修 等

若プロ電話サポートの活用

Edu・Sta コンサルの活用

イ オンデマンド動画等 を活用した研修

- 講義映像を視聴する

・関係教育機関作成教材 等

ウ 校外の講師を 活用した研修

- 講師が講義・演習を行う

指導主事派遣サポートの活用

金大連携サポートの活用

等

※学び(気づいたこと、生かしたいこと等)を付箋やノートに記入

【研修テーマ例】

- 新学習指導要領の趣旨の理解
- 教科の特質における言語活動
- 教員としての素養
- 指導技術(指示や説明の仕方、交流活動における指導 等)
- 学級・授業開きのポイント
- 授業における ICT 活用
- 保護者対応のポイント
- インクルーシブ教育の理解
- キャリア教育
- 人権教育
- 消費者教育
- 等

2 交流

INPUT

OUTPUT

- 各自の学び(気づいたこと、生かしたいこと等)を基に意見交流を行う
- ※時間があれば、分類・整理したことを発表したり見合ったりする

3 まとめ・目標決め(P)

OUTPUT

- 講義・交流による学びを生かして、今後の目標を決める(個人・グループ・全体)
- ※「育成を図りたい児童・生徒の姿」「そのための具体的な方策」の両方を考えるようにする

研修後

実践(D)→評価(C)→改善(A) ☆PDCA サイクル

教員間の意見交流を中心とした研修の進め方例

1 実践の振り返り

OUTPUT

○研修テーマについて、各自実践していることや意見等を書く

【研修テーマ例】

○学級開きの方法 ○学級（HR）経営のポイント ○効果的な授業の導入 ○子どものほめ方、叱り方
○いじめ対応 ○保護者対応の留意点 ○学校行事・部活動指導のコツ ○教室掲示の工夫 等

2 交流

INPUT

OUTPUT

○書いた内容を基にグループで意見交流を行う

※時間があれば

○グループで出た意見を分類・整理する → ○整理した結果を全体で共有する

3 まとめ・目標決め(P)

OUTPUT

○交流による学びを生かして、今後の目標を決める（個人） → ○グループや全体で共有

研修後

実践(D)→評価(C)→改善(A) ☆PDCA サイクル